

エコアクション 21

環境経営レポート

2024 年度



取り組み期間：2025 年 6 月～2025 年 8 月

発行日：2025 年 10 月 10 日

改訂発行日：2025 年 12 月 15 日

【目 次】

1 会社概要	2
2 環境経営方針	3
3 認証・登録の対象範囲	4
4 施設等の状況（収集運搬業・中間処理業）	5
5 実施体制	9
6 環境経営目標	10
7 環境経営計画	12
8 環境負荷実績及び評価	13
9 取組実績とその他の活動内容	15
10 環境関連法規などの遵守状況	20
11 次年度環境経営目標及び環境経営計画	21
12 代表者による評価と見直し	22



1 会社概要

・会社名 株式会社ひまわり
・本社所在地 福島県須賀川市森宿字道久 19 番地 13
TEL 0248-75-5133 FAX 0248-72-5534

・代表者 代表取締役 佐藤 靖志



ホームページ

・創業 昭和 39 年 2 月 1 日

・設立 昭和 52 年 9 月 30 日

・営業所 福島県郡山市本町 1 丁目 10-9 森合グレースイン 102

・資本金 2,500 万円

・従業員数 43 人 (事務職 8 名、技術職 35 名 2025 年 8 月現在)

・敷地面積 10,184.94 m²

・建築面積 1,827.47 m²

・売上高 478,372,978 円 (第 49 期 (2024 年 9 月～2025 年 8 月期))

・事業内容 一般廃棄物収集運搬、産業廃棄物収集運搬、産業廃棄物中間処理、
浄化槽保守点検、汚水処理施設・下水管路等メンテナンス、
飲料水槽メンテナンス、建設業



2 環境経営方針

環境経営方針

基本理念

私たちは、事業活動から生ずる、環境への種々の影響を低減することが、社会的責任の一つと認識し、「環境にやさしい企業」の実現に向け社員一人ひとりが連携し、地域の環境保全に積極的に取り組んでまいります。

行動指針

1. 当社行動指針「皆の為になるかどうか」を基に、事業活動における地球環境への負荷を最小限に抑えるよう努めます。
2. 事業活動における二酸化炭素の削減、廃棄物の削減と再利用化、再資源化に貢献します。
3. リサイクル製品、省エネタイプ機器の導入、環境負荷の少ない資機材の優先購入、エコマーク製品の積極購入を推進します。
4. 環境経営目標と環境経営活動計画を設定し、環境経営システムを構築とともに、定期的な見直しと継続的改善を図ります。
5. 事業活動、サービスに關わる環境関連法規、規則、条例などを遵守し、安全で信頼できる事業活動を展開します。
6. 社員が働きやすい環境を整え、一人ひとりの能力を最大限に發揮できる職場づくりを目指します。

この環境経営方針を全社員に周知徹底し、環境に関する意識の向上を図ります。

制定日：2025年5月26日

改訂日：2025年11月11日

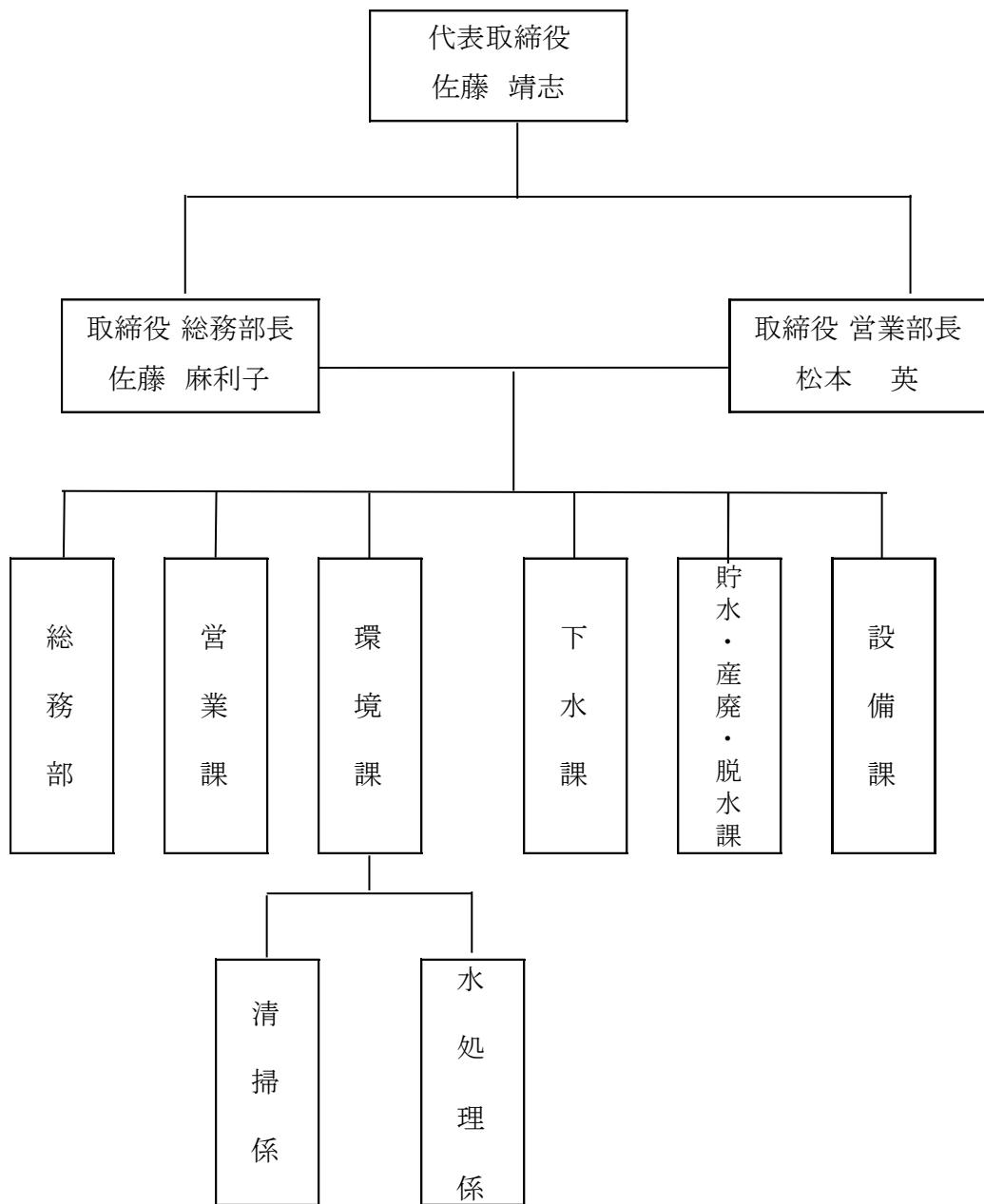
株式会社 ひまわり

代表取締役 佐藤 靖志



3 認証・登録予定範囲

- ・対象組織 (株)ひまわり全組織
- ・対象活動 (株)ひまわりの事業内容の全活動
- ・組織図



4 施設等の状況（収集運搬・中間処理）

① 車両の種類と台数

- ・ダンプ車 2台
- ・脱着車 2台
- ・汚泥吸引車 4台
- ・バキューム車 8台
- ・軽トラック 2台
- ・クレーン付トラック 1台
- ・移動式汚泥脱水車 2台



* * * その他の車両 * * *

- ・カメラ車
- ・高圧洗浄車
- ・貯水槽高圧洗浄車
- ・浄化槽管理用軽バン



② 積み替え行為施設（福島県許可）

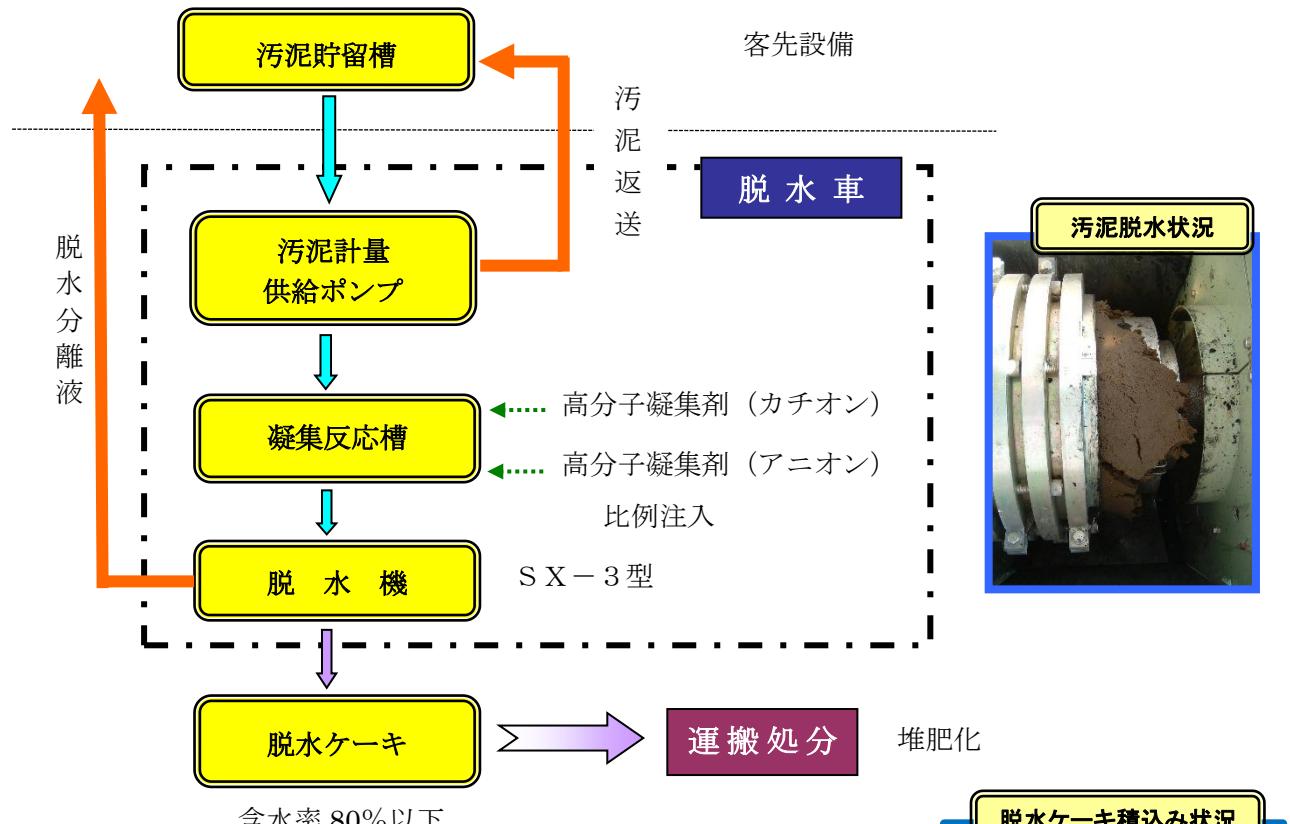
積み替え施設の所在地	福島県須賀川市森宿字道久 19-13
廃棄物の種類	汚泥
積み替え場所の面積	120 m ²
保管上限量	保管行為を含まない

③ 中間処理施設（移動式脱水）

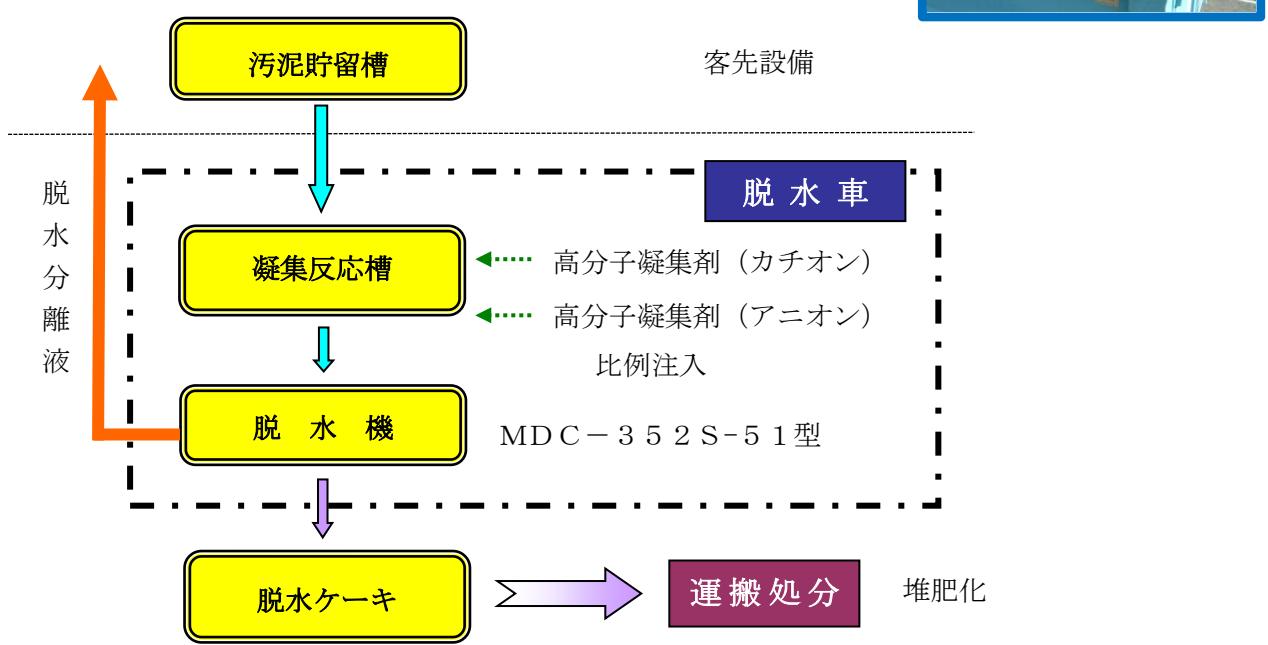
処理する廃棄物の種類	汚泥（特別管理廃棄物であるものを除く）
処理施設の種類	一般廃棄物・産業廃棄物汚泥の移動式脱水
処理方式	<ul style="list-style-type: none">・SX-3型：スクリュープレス・MDC-352S-51型：多重板型スクリュープレス
処理能力	<ul style="list-style-type: none">・SX-3型：20～40m³/日（8時間）・MDC-352S-51型：32～64 m³/日（8時間）

④中間処理施設 处理工程図

【 移動式脱水車 SX-3 型 】



【移動式脱水車 MDC-352S-51型】



⑤受託した廃棄物の処理量等

・一般廃棄物

	廃棄物等種類	処分方法等	収集運搬量 (2025年6月～8月)	収集運搬量 (2024年9月～2025年8月)
一般廃棄物 収集運搬	し尿・汚泥		1314.81 m ³	5300.24 m ³
一般廃棄物収集運搬量合計			1314.81 m ³	5300.24 m ³

・産業廃棄物

	廃棄物等種類	処分方法等	収集運搬量 (2025年6月～8月)	収集運搬量 (2024年9月～2025年8月)
産業廃棄物 収集運搬	汚泥		118.29 t	505.71 t
産業廃棄物収集運搬量合計			104.00 t	430.14 t
処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 (2025年6月～8月)	処理量 (2024年9月～2025年8月)
中間処理	汚泥	脱水	990.00 t	3399.00 t
うち 再資源化等	汚泥	脱水ケーキ (堆肥化)	84.47 t	297.20 t
再資源化等量小計			84.47 t	297.20 t
中間処理合計			84.47 t	297.20 t

⑥許可の状況

	許可番号 (県・市・町)	許可年月日	許可有効年月日	事業計画の概要	事業範囲(事業区分・廃棄物種類)
1	第1号(須賀川市)	R6.4.01	R8.3.31	一般廃棄物収集運搬 (屎尿)	屎尿収集運搬
2	第1号(天栄村)	R6.4.01	R8.3.31	一般廃棄物収集運搬 (屎尿)	同上
3	第9号(須賀川市)	R6.4.01	R8.3.31	一般廃棄物(事業系ごみ)収集運搬・委託契約による収集運搬の受託	事業系ごみ収集運搬(積み替え保管行為含む)
4	中振一般P第4号 (福島県県中振興局)	H18.10.24	—	一般廃棄物の移動式脱水施設 (設置許可)	農業集落排水施設の汚泥(須賀川市内農業集落排水施設内)(設置許可)
5	中振一般P第5号 (福島県県中振興局)	H20.3.19	—	一般廃棄物の移動式脱水施設 (設置許可)	農業集落排水施設の汚泥(天栄村内農業集落排水施設内)(設置許可)

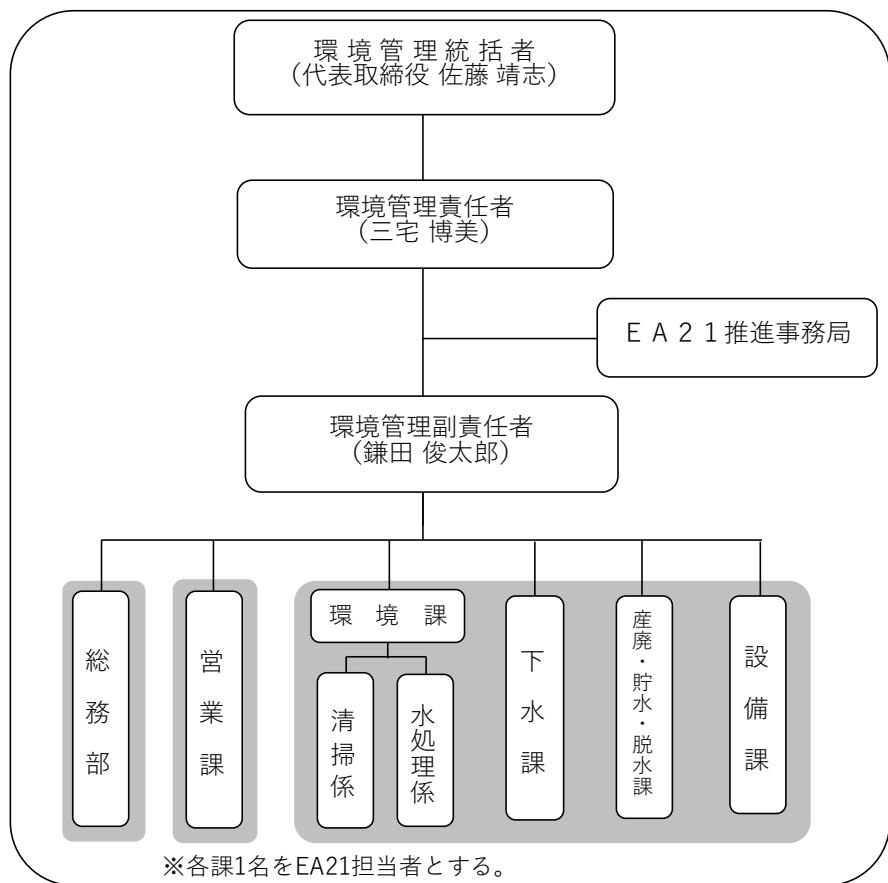
	許可番号 (県・市・町)	許可年月日	許可有効年 月日	事業計画の概要	事業範囲 (事業区分・廃棄物種 類)
6	第6号(天栄村)	R6.4.1	R8.3.31	移動式汚泥の脱水 施設	汚泥の中間処理(移動式 脱水) 特別管理一般廃棄 物を除く
7	第00712008995号 (福島県)	R6.9.24	R8.9.23	産業廃棄物収集運 搬・委託契約によ る収集運搬の受託	収集運搬(積み替え行為 を含み、保管行為を含ま ない) 汚泥収集運搬(積 み替え保管を含まない) ①～⑪
8	第9400008995号 (いわき市)	H21.2.5	—	産業廃棄物収集運 搬・委託契約によ る収集運搬の受託	収集運搬(積み替え行為 を含み、保管行為を含ま ない) 汚泥
9	第0900008995号 (栃木県)	R5.1.19	R10.1.18	産業廃棄物収集運 搬・委託契約によ る収集運搬の受託	汚泥の収集運搬(積み替え 保管行為を含まない) 営業区域は、宇都宮市の 区域を除く 特別産業廃棄物を除く
10	中振P第33号 (福島県)	H15.7.10	—	移動式汚泥脱水の 設置許可 駐機場 須賀川市森宿字道 久19-13 (設置許可)	汚泥(特別管理産業廃棄 物を除く) 郡山市・いわ き市を除く県南一円 (設置許可)
11	第0720008995号 (福島県)	R5.9.29	R10.9.28	移動式汚泥の脱水 施設	汚泥(特別管理産業廃棄 物を除く)
12	第12420008995号 (福島市)	R5.9.29	R10.9.28	産業廃棄物処分業 許可(移動式中間 処理)	中間処理(移動式脱水) 汚泥
13	郡P第23号 (郡山市)	H17.7.13	—	移動式汚泥脱水施 設(設置許可)	汚泥(特別産業廃棄物を 除く) 郡山一円 (設置許可)
14	第8720008995号 (郡山市)	R2.12.15	R12.12.20	産業廃棄物汚泥	汚泥の中間処理(移動式 脱水) 特別管理産業廃棄 物を除く
15	い廃P第21号 (いわき市)	H20.3.13	—	移動式汚泥脱水施 設(設置許可)	汚泥(特別産業廃棄物を 除く) いわき市内一円 (設置許可)
16	第09420008995号 (いわき市)	R5.6.26	R10.6.23	産業廃棄物汚泥	汚泥の中間処理(移動式 脱水) 特別管理産業廃棄 物を除く いわき市内一円

廃棄物の種類 汚泥 ①燃え殻②廃油③廃酸④廃アルカリ⑤廃プラスチック⑥紙くず⑦木くず⑧金属くず
⑨動物性残渣⑩ガラスくず・コンクリートくず⑪がれき類⑫家畜ふん尿



5 実施体制

エコアクション21実施体制



役割	役割・責任・権限
環境管理統括者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針を定め、宣言する。 ・環境経営に取り組むための実施体制を構築する。 ・環境経営システムの取組状況を評価し、見直しの実施と必要な指示を行う。 ・環境経営システム構築、運営、維持に必要な経営資源を提供する。 ・環境経営における課題とチャンスの整理を行う。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムを構築し、維持、運営を行う。 ・環境管理統括者に取組状況を報告し、環境管理統括者からの指示を実行する。 ・環境関連法規の最新情報を管理し、遵守状況などを取りまとめる。
EA21推進事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境負荷データ等の管理、実績の集計、書類の作成を行う。 ・環境経営レポートを作成し公開する。
環境管理副責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者が不在の場合は代理を行う。 ・全社の環境目標を達成させる為、活動を推進する。
各課 EA21担当者	<ul style="list-style-type: none"> ・各課の環境目標を達成させる為、活動を推進する。 ・各課内の情報伝達や、環境管理責任者への実施結果報告を行う。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する。 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。

6 環境経営目標

①二酸化炭素総排出量抑制

* 2023 年 6 月～8 月実績値を基準年度とし、2026 年度までに 1%削減。

環境目標 項目	基準年度 2023 年度 (2024 年 6 月～8 月)	2024 年度目標 (2025 年 6 月～8 月)	中期目標	
			2025 年度	2026 年度
総二酸化炭素排 出量	56,533 kg-CO ₂	56,250 kg-CO ₂	237,277 kg-CO ₂	236,799 kg-CO ₂
電力使用量	6,560 kwh	6,527 kwh	43,585 kwh	43,497 kwh
ガソリン	6,405 ℥	6,373 ℥	24,025 ℥	23,977 ℥
軽油	14,625 ℥	14,552 ℥	59,217 ℥	59,098 ℥
灯油	0 ℥	0 ℥	1,056 ℥	1,054 ℥
LP ガス	52.0 kg	51.7 kg	326.5 kg	325.8 kg

※電力調整後排出係数は、丸紅新電力(株)R5 年度 0.577kg-CO₂/kwh を使用。

②水使用量抑制

* 2023 年 6 月～8 月実績値を基準年度とし、2026 年度までに 1%削減。

2023 年度 (2024 年 6 月～8 月)	2024 年度目標 (2025 年 6 月～8 月)	中期目標	
		2025 年度	2026 年度
基準年度実績値	基準年度実績値から 0.5%削減	基準年度実績値から 0.8%削減	基準年度実績値から 1.0%削減
251.0 m ³	249.7 m ³	1304.5 m ³	1301.9 m ³

③化学物質使用量

* 受注状況により影響するため目標は年間使用量実績把握とする。

2023 年度 (2024 年 6 月～8 月)	2024 年度目標 (2025 年 6 月～8 月)	中期目標	
		2025 年度	2026 年度
11.0 kg	実績把握	実績把握	実績把握

④廃棄物排出量抑制（自社排出分）

・一般廃棄物

* 2023 年実績値を基準年度とし、2026 年度までに 1.5%削減。

* 基準年度実績値は年間排出量から 3 ヶ月分を算出。

2023 年度	2024 年度目標	中期目標	
		2025 年度	2026 年度
基準年度実績値	基準年度実績値から 1.0%削減	基準年度実績値から 1.3%削減	基準年度実績値から 1.5%削減
240.0 kg	237.6 kg	947.5 kg	945.6 Kg

・産業廃棄物

* 2023 年実績値を基準年度とし、2026 年度までに 1.5%削減。

* 基準年度実績値は年間排出量から 3 ヶ月分を算出。

2023 年度	2024 年度目標	中期目標	
		2025 年度	2026 年度
基準年度実績値	基準年度実績値から 1.0%削減	基準年度実績値から 1.3%削減	基準年度実績値から 1.5%削減
9,007.5 kg	8,917.0 kg	35,561.6 kg	35,489.6 kg

④製品・サービス関連

	環境目標項目	2024 年度目標 (2025 年 6 月～8 月)	中期目標	
			2025 年度	2026 年度
受託産業 廃棄物関連	中間処理施設の適正な整備	3 回	12 回	12 回
	環境関連クレームゼロ	0 件	0 件	0 件
建設業関連	環境関連クレームゼロ	0 件	0 件	0 件

⑥CSR 関連

2024 年度目標		
労働環境の整備	熱中症対策用品の支給	ファン付きベスト支給、 WBGT 測定器支給など
	社員教育と資格取得者数アップ	5 人
健康意識の向上	血圧計の利用率アップ	68%

7 環境経営計画

環境目標	活動・取組項目	活動の具体的な内容
二酸化炭素排出量の削減	■消費電力の削減	室温は、暖房期19°C、冷房期28°Cで管理する。 サーキュレーターを併用し室内温度を均一化する。 不要な照明を消灯する。 OA機器・家電製品の待機電力を削減する。 太陽光発電設備の適正な維持管理。 暖房便座のフタを閉じる。 照明器具の省エネ型機器採用。
		エコドライブの励行。 経済速度の遵守。 タイヤの空気圧を定期的に調整する。 5000kmごとにオイル交換、10000kmごとにエレメント交換を実施する。 車検時はエンジン洗浄などを含めたエコ車検を実施する。
		ペレットストーブの適正な維持管理。
	■その他化石燃料の削減 (灯油・LPG)	
廃棄物の削減	■一般廃棄物の削減 (リサイクルの推進)	分別の徹底。 リサイクルトナーなどリサイクル製品を優先購入する。 コピー用紙削減(両面コピー・裏紙利用の徹底)。 使用済み封筒の再利用。 一般廃棄物の排出量を記録する。
		保管場所の管理。
		マニフェスト・契約書類の管理。
		分別の徹底。
	■産業廃棄物の適正管理	
水	■水道使用量の削減	節水シールの貼付け。 雨水の利用。 洗車時の流し放し防止の徹底。
物化 質学	■化学物質の適正管理	SDS(安全データシート)の管理と周知。 使用量の把握と適正管理。
サービス・製品・関連	■受託した産廃の処理に関する環境配慮	廃棄物の種類、性状、排出量を把握し、適切な収集運搬機材の選出を行う。 エコドライブの励行。 車両と機器の定期点検、適正な整備。
		中間処理後の廃棄物はリサイクルできる業者へ搬入する。
	■建設業関連	エコドライブの励行。 再生資源の積極的利用。
C S R	■グリーン購入の推進	事務消耗品などのグリーン製品選定。 エコマーク商品を優先的に購入する。 リサイクルパーツの使用。
	■会社周辺の美化	敷地内の緑化、花壇の整備。
	■環境活動への意識向上	エコバック、マイ箸、マイ水筒などのエコ活動を呼びかける。 残業の削減。 労働環境の整備。
		社員の健康意識の向上。
	■取引先等への働きかけ	オリジナルマイバッグを作成し、社員や取引先に配る。

8 環境負荷実績及び評価

①二酸化炭素総排出量

○：達成 △：維持 ×：未達

環境目標項目	2024 年度 目標値	実績値 (2025 年 6 月～8 月)	判定	未達成の場合は対策等
総二酸化炭素 排出量	56,250 kg-CO ₂	59,301 kg-CO ₂	×	引き続き取組みを継続
電力使用量	6,527 kwh	7,057 kwh	×	引き続き取組みを継続
ガソリン	6,373 ℥	6,348 ℥	○	
軽油	14,552 ℥	15,633 ℥	×	引き続き取組みを継続
灯油	0 ℥	0 ℥	○	
LP ガス	51.7 kg	56.3 kg	×	引き続き取組みを継続

②水使用量

環境目標項目	2024 年度 目標値	実績値 (2025 年 6 月～8 月)	判定	未達成の場合は対策等
水道	249.7 m ³	203.0 m ³	○	

③化学物質使用量

* 受注状況により影響するため目標は年間使用量実績把握とする。

環境目標項目	2024 年度 目標値	実績値 (2025 年 6 月～8 月)	判定	未達成の場合は対策等
化学物質	実績把握	19.7 kg	－	



④廃棄物排出量

*年間排出量から 3ヶ月分を算出

環境目標項目	2024 年度 目標値	実績値 (2025 年 6 月～8 月)	判定	未達成の場合は対策等
一般廃棄物	237.6 kg	267.5 kg	×	引き続き取組みを継続
産業廃棄物	8,917kg	5,096.5 kg	○	

⑤製品・サービス関連

	環境目標項目	2024 年度 目標	実績値 (2025 年 6 月～8 月)	判定	未達成の場合は 対策等
受託産業 廃棄物関連	中間処理施設の適正な整備	3 回	3 回	○	
	環境関連クレームゼロ	0 件	0 件	○	
建設業関連	環境関連クレームゼロ	0 件	0 件	○	

⑥CSR 関連

2024 年度目標		取組実績	判定
労働環境 の整備	熱中症対策用品の支給	・ファン付き作業着・WBGT 測定器・移動式冷凍庫 ・遮熱ヘルメット、インナーパッド、麦わらバイザー	○
	社員教育と 資格取得者数アップ	・資格取得者数 10 人 (2024 年 9 月～2025 年 8 月) ・各種講習会参加	○
健康意識 の向上	血圧計の利用率アップ	・1 ヶ月あたりの利用率 68.2%	○



9 取組実績とその他の活動内容

①環境経営計画取組実績

2025年6月～8月

◎:よくできた ○:できた
△:やや不十分 ×:不十分

環境目標	活動・取組項目	活動の具体的な内容	判定	備考・対策等
二酸化炭素排出量の削減	■消費電力の削減	室温は、暖房期19°C、冷房期28°Cで管理する。	△	酷暑のため設定温度を下げることもあった
		サーチュレーターを併用し室内温度を均一化する。	○	
		不要な照明を消灯する。	○	
		OA機器・家電製品の待機電力を削減する。	○	
		太陽光発電設備の適正な維持管理。	○	
		暖房便座のフタを閉じる。	○	
		照明器具の省エネ型機器採用。	△	一部未達
	■ガソリン・軽油使用量の削減 (燃費の向上)	エコドライブの励行。	△	呼びかけの掲示物を作成する
		経済速度の遵守。	○	
		タイヤの空気圧を定期的に調整する。	○	
		5000kmごとにオイル交換、10000kmごとにエレメント交換を実施する。	○	
		車検時はエンジン洗浄などを含めたエコ車検を実施する。	○	
	■その他化石燃料の削減 (灯油・LPG)	ペレットストーブの適正な維持管理。	△	使用期間外のため
廃棄物排出量の削減	■一般廃棄物の削減 (リサイクルの推進)	分別の徹底。	○	
		リサイクルトナーなどリサイクル製品を優先購入する。	○	
		コピー用紙削減(両面コピー・裏紙利用の徹底)。	○	
		使用済み封筒の再利用。	○	
		一般廃棄物の排出量を記録する。	○	
	■産業廃棄物の適正管理	保管場所の管理。	○	
		マニフェスト・契約書類の管理。	○	
		分別の徹底。	○	
総の排水量の削減	■水道使用量の削減	節水シールの貼付け。	○	
		雨水の利用。	○	
		洗車時の流し放し防止の徹底。	△	呼びかけ強化する
物化質	■化学物質の適正管理	SDS(安全データシート)の管理と周知。	△	SDS情報収集のみ済
		使用量の把握と適正管理。	○	
グリーン購入	■グリーン購入の推進	事務消耗品などのグリーン製品選定。	○	
		エコマーク商品を優先的に購入する。	○	
		リサイクルパーツの使用。	○	
サービス・関連	■受託した産廃の処理に関する環境配慮	廃棄物の種類、性状、排出量を把握し、適切な収集運搬機材の選出を行う。	○	
		エコドライブの励行。	○	
		車両と機器の定期点検、適正な整備。	○	
		中間処理後の廃棄物はリサイクルできる業者へ搬入する。	○	
	■建設業関連	エコドライブの励行。	○	
		再生資源の積極的利用。	○	
CSR関連	■会社周辺の美化	敷地内の緑化、花壇の整備。	○	
	■環境活動への意識向上	エコパック、マイ箸、マイ水筒などのエコ活動を呼びかける。	△	呼びかけの掲示物を作成する
		残業の削減。	○	
		労働環境の整備。	○	
		社員の健康意識の向上。	○	
	■取引先等への働きかけ	オリジナルマイバッグを作成し、社員や取引先に配る。	△	次年度に向け計画済



* 環境負荷削減対策取組状況



節水・節電の呼びかけ掲示



お昼休み中の事務所の様子
(使用していない電灯を消灯)

* CSR 関連取組状況

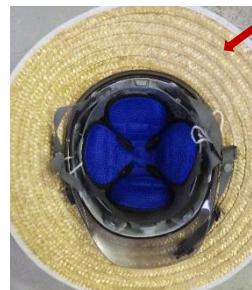
— 労働環境の整備 —

・熱中症対策用品の支給



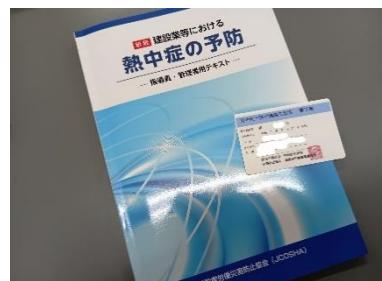
移動式冷凍庫は、-18度まで
設定でき、氷や保冷剤を常備。

遮熱ヘルメットに、麦わら
バイザーとインナーパッド
を装着。インナーパッド内
には保冷剤を入れます。



・取得した資格 (2024年9月～2025年8月)

- ・下水道管路管理主任技士
- ・浄化槽技術管理者
- ・2級管工事施工管理技士 2名
- ・小型移動式クレーン運転技能者
- ・特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者
- ・玉掛け技能者 2名
- ・浄化槽設備士
- ・第1種衛生管理者



講習会にも積極的に
参加しました

— 健康意識の向上 —



ふくしま健康経営優良事業所
2024に認証されました。

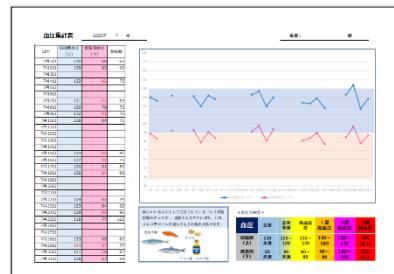


自動血圧測定器を設置。
測定結果は個別集計表にし、
配付しています。



設置型健康社食サービスを
導入しました。

その他、健康推進委員会の発足、
ウェルネス休暇の導入など
健康経営にも取り組んでいます。



血圧測定個別集計表

②その他の活動内容

* 「福島県次世代育成支援企業認証」を取得しました*

仕事と育児の両立支援に積極的に取り組む中小企業や、仕事と生活のバランスが取れる働きやすい職場環境づくりに向けて総合的な取組みを行っている企業を福島県が認証する制度です。

認証部門



「働く女性応援」

第 654 号



「仕事と生活の調和」

第 679 号



ひまわりの SDGsへの挑戦

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ひまわりは、国際連合が提唱する『持続可能な開発目標』に賛同し、SDGs17のゴール目標から、自社の経営理念『皆のためになるかどうか』と密接なつながりを持つ課題を抽出し、全ての人々が健康的で持続可能な暮らしができることを目指す企業となることを、全ての社員の目標とし挑戦を続けます。

ペレットストーブ・太陽光発電システム・雨水の利用・LED 照明等、現在稼働中設備の継続利用を推進し、事業活動から発生する二酸化炭素発生を抑制することで、気候変動を少しでも遅らせられる行動をこれからも実践します。



「須賀川市 SDGs 宣言パートナー」
に認定されています。



【社屋に設置した太陽光発電パネル（50kWh）】



平成 18 年に設置。令和 7 年 6 月～8 月の発電量は 17696.422 kWh。二酸化炭素換算で 10210.835 kg-co₂/kWh 削減しました。

(排出係数 : R5 年度実績 丸紅新電力(株) 0.577kg-co₂/kWh)

【雨水貯水タンク】



水管高圧洗浄・浄化槽清掃後の水張り等で使用しています。

【ペレットストーブ】



県産材の木材や間伐の際に発生する未利用材を活用した固体燃料（ペレット）。化石燃料と違つて、大気中のCO₂を増やさない「カーボンニュートラル」な燃料です。



【日本赤十字社様への寄付】

廃棄紙類の売却で得られた収入について、ささやかではありますが、日本赤十字様への寄付を行っています。

第49期寄付額：6,072円

【mymizu アプリ】



無料給水スポット mymizu アプリに登録しています。ペットボトル消費量を減らすことで、海洋ゴミの削減（SDGs目標14「海の豊かさを守ろう」）に貢献できるよう努めます。



10 環境関連法規などの遵守状況

・該当する主な環境関連法規・条例

法規名	主な要求事項	遵守状況
環境基本法	廃棄物の適正処理、環境への負荷低減・環境保全に努める	○
循環型社会形成推進基本法	再生品の利用	○
地球温暖化対策推進法 (地球温暖化対策の推進に関する法律)	温室効果ガスの排出抑制	○
グリーン調達法	環境物品等の選択	○
浄化槽法	浄化槽の維持管理、浄化槽清掃業	○
オフロード法	フォークリフト等の使用者の責務	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	一般廃棄物・産業廃棄物の処理、一般廃棄物収集運搬・産業廃棄物収集運搬	○
福島県産業廃棄物等の処理の適正化に関する条例	産業廃棄物の適正処理、中間処理施設の設置許可	○
福島県産業廃棄物処理指導要綱	中間処理施設の設置・変更の届出	○
須賀川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例	一般廃棄物収集運搬、浄化槽清掃	○
建設リサイクル法	建設廃材の分別	○
自動車リサイクル法	使用済み自動車の引き渡し	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンの点検	○

当社に適用される環境関連法規等の順守状況を確認した結果、違反や訴訟はありませんでした。

また、関係機関からの違反等の指摘や、利害関係者からの訴訟もありませんでした。



11 次年度環境経営目標及び環境経営計画

◆ 二酸化炭素排出量抑制 (数値及び具体的行動は環境経営目標・計画に記載)

- ・太陽光発電システムの維持管理
- ・ペレットストーブの活用・維持管理
- ・LED 照明へ順次切り替え

◆ 廃棄物抑制 (数値及び具体的行動は環境経営目標・計画に記載)

- ・紙資源の再使用
- ・新聞紙・ダンボール・廃プラ等、再資源化に努める

◆ 水使用量の抑制 (数値及び具体的行動は環境経営目標・計画に記載)

- ・節水
- ・雨水の業務への利用

◆ 化学物質適正管理の推進

◆ 受託した廃棄物に関する環境配慮

- ・再資源化率の向上を目指す
- ・機器、車両の適正な整備を行い、処理の効率化向上

◆ 建設業に関する環境配慮

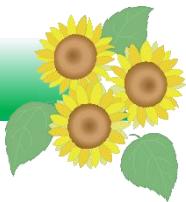
- ・再生資源の積極的利用

◆ CSR 関連

- ・グリーンマーク・エコマーク品の購入調達率向上
- ・オリジナルマイバッグを作成し、環境コミュニケーションを働きかける
- ・社員教育と緊急事態訓練



12 代表者による評価と見直し



・全体の評価

本年度は環境経営の初年度として、二酸化炭素総排出量の抑制に向けた取り組みを開始しました。残念ながら、設定した目標値には到達できませんでしたが、これは現状の排出量を把握するための重要なステップであり、今後の改善に向けた基盤づくりと捉えています。

また、当社では、環境経営を単なる資源の節約や排出削減にとどまらず、より広い視点で、労働環境の整備や健康経営の推進も持続可能な社会づくりに欠かせない要素であり、環境経営の一環と考えています。社員一人ひとりが安心して働く職場づくりや、心身ともに健康でいられる仕組みを整えることで、組織全体の活力が高まり、結果として環境への配慮や社会的責任の遂行にもつながると信じています。

今後も、環境・労働・健康の三位一体の取り組みを継続するとともに、SDGsの理念を取り入れ、二酸化炭素総排出量の抑制に向けた取り組みを継続し、持続可能な社会の実現に向けて引き続き全社一丸となって努力してまいります。

・変更の必要性

項目	変更の必要性	代表者による指示	項目	変更の必要性	代表者による指示
環境経営方針	無	現状変更なし	環境経営目標	無	引き続き取り組む
実施体制	無	現状変更なし	環境経営計画	無	引き続き取り組む